学校だより青南

7月号

令和７年６月３０日

港区立青南小学校

デジタル機器と上手に

野口　直樹

私が、担任として働きだしたころ、「こんなのあればいいなぁ」と思ったものがありました。

30 年ほど前。私は、４年の担任をしていました。その日は、4 年生理科の学習、校庭に咲く草花を調べることが課題でした。草花に対する知識が豊富ではなかった私は、先輩の理科の先生から借りた、草花図鑑（写真とちょっとした解説が載っている山歩きの友のような本）を片手に、子どもたちと活動をしていました。タンポポや菜の花等、花壇に咲く花は、すぐに分かり「これはね、〇〇だよ」と子どもに教えていました。ほどなく、花壇ではなく、地に咲く花に興味をもった子どもが「先生、これ何」と私に聞いてきました。聞かれたときに「えっとね」と図鑑を見ながら、探すのですが、なかなか見つかりませんでした。ようやく見つけて伝えようとしたときには、私に尋ねていた子は、次の花へと行ってしまった後でした。その時に、写真を撮ればその花の情報がすぐわかる道具があればいいのにと思っていました。

私が 30 年前にあったらいいなぁと思った道具が、今、身近にあります。子どもたちがもっている情報端末に標準に装備されています。何かを知りたいときに、瞬時に答えが出ます。大変便利で、円滑に学ぶことができます。非常に便利です。でも、非常に便利な物の登場は、今までもっていた人の力を奪うこともあります。

今、私たちが使っている情報端末は、私たちに時間をプレゼントしてくれました。これまで、長い時間必要だった調べることから解放してくれています。調べることに使っていた時間を、その調べたこともとにして、考えることに時間をたくさん使えれば、大いに思考力を高めることになり、未来を生きていく力になります。しかし、AI が調べてまとめてくれたものをそのまま自分の考えとしてまとめてしまえば、考えるということができなくなってしまいます。

身近にある便利な道具を、道具として自身の必要に応じて、使いこなす力がますます重要になってくると考えます。学校では、これまで通り、直接体験できることは体験し、紙媒体の方が理解しやすい時には本を使い、バランスよく学習を進めてまいります。そのうえで、子どもたちが、情報端末を自身の学習や生活で目的に合わせて利活用できるよう指導していきたいと考えております。

【自律に向けて　情報モラル】

スマートフォンやゲームを持たせる際には、ご家庭でのルールをご確認ください。

自律とは自分の意思で判断しながら行動すること、他律とは自分の意志ではなく他人の命令などによって行動することです。使ってもよい「時間や場の範囲」を考えさせることで、自分の意志で判断しながら行動する力が育ちます。大人から指摘されて「これくらいは大丈夫だろう」という自分の判断の甘さに気づくことも学習です。

ルールや約束を作る際は、どのように使用すればよいかを考えさせ、定期的に振り返ることで、自律を促していきたいですね。

【広報委員会】

広報委員会は「青南小学校の『今』を伝える」をテーマに活動しています。活動内容は、子どもたちが中心となり決めており「自分たちが広めたいこと」や「みんなが知りたいこと」を考え・調べ・まとめ・発信しています。

１学期は「学校紹介」「新しくいらっしゃった先生方の紹介」「学校で安全に過ごすためのルールやマナー」を発信するために、それぞれのグループに分かれました。週に１度は集まったり、自主的に取材をしたりするなど、熱意をもって活動しています。

【科学・実験クラブ】

科学・実験クラブでは、年間を通して様々な実験やもの作りを行っています。

今年度は、「カルメ焼き」「アイスづくり」「スーパーボール作り」「ハンドクリーム作り」などの活動を予定しています。

５月には、「スライム作り」、６月には「ミョウバンの結晶作り」に取り組み、班の人と協力して、活動を行うことができました。これからも、一人一人が安全で楽しく活動が行えるようにしていきます。

【２年生】

生活科では、5月から野菜を育てています。10種類の野菜の中から自分が育てたい野菜を選びました。選んだ理由は様々で「好きな野菜だから」「苦手な野菜を克服したい」「たくさん収穫しておうちの人と食べたい」など、それぞれの思いをもって大切に育てています。

また、自分たちのまちをもっと知るために、町たんけんに出かけました。地域にある多くのお店や施設にご協力いただき、いろいろなことを教えていただきました。学習したことを「町のいいところ見つけたよ!」として、まとめていきます。